



## 医療安全に関する主なできごとと看護協会の取り組み

会員の皆様におかれましては、毎月発信しております医療安全情報をお読みいただきありがとうございます。継続して毎月発信でき、次回をもちまして100号を迎えることとなりました。この情報は、本協会特別委員会の医療・看護安全看護対策委員会のメンバーで作成していましたが、次年度新公益法人化に向け、当委員会は平成24年度末に閉会することとなり、次回をもちまして終了させていただきます。

本99号は、これまでの医療安全の歴史を振り返ると共に、看護協会での取り組みなどあわせて紹介いたします。

尚、引き続き会員の皆様へ、日本医療機能評価機構からの医療安全情報の発信とリスクマネジャー交流会は開催する予定ですので、今後ともご活用ください。

年号	出来事	看護協会での取り組み
1999年	横浜市立大学病院の「患者取り違え事故」	
2000年	東海大学病院栄養チューブ取り違え投薬事故	医療安全管理者養成研修の開始
2001年	厚生労働省が11月25日「いい医療に向かってGO！」医療安全推進週間を設ける	日本看護協会では医療・看護安全対策室を設置 看護職賠償責任保険制度創設
2002年	医療機関における安全対策体制の強化 (医療法施行規則改正)	
2003年	「医療安全支援センター」の設置が始まる	長崎県看護協会では医療・看護安全対策委員会を設置 医療安全情報の第1号発信
2004年	ヒヤリ・ハット事例収集の全国展開など	県リスクマネジャー交流会開始
2005年	医療の質・安全学会の創設	毎月の医療安全情報の発信、毎年県下のリスクマネジャー交流会を開催してまいりました。 この間に県下リスクマネジャーの実態調査を2回行いました。
2006年	診療報酬に7対1入院基本料が創設 診療報酬に医療安全対策加算が創設 第5次医療法改正	
2007年	「ICUにおける安全管理指針」報告書 「医療安全管理者の質の向上に関する検討会」報告書	
2008年	医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案公表	

参考：看護 2008 11月臨時増刊号 P98～P100

